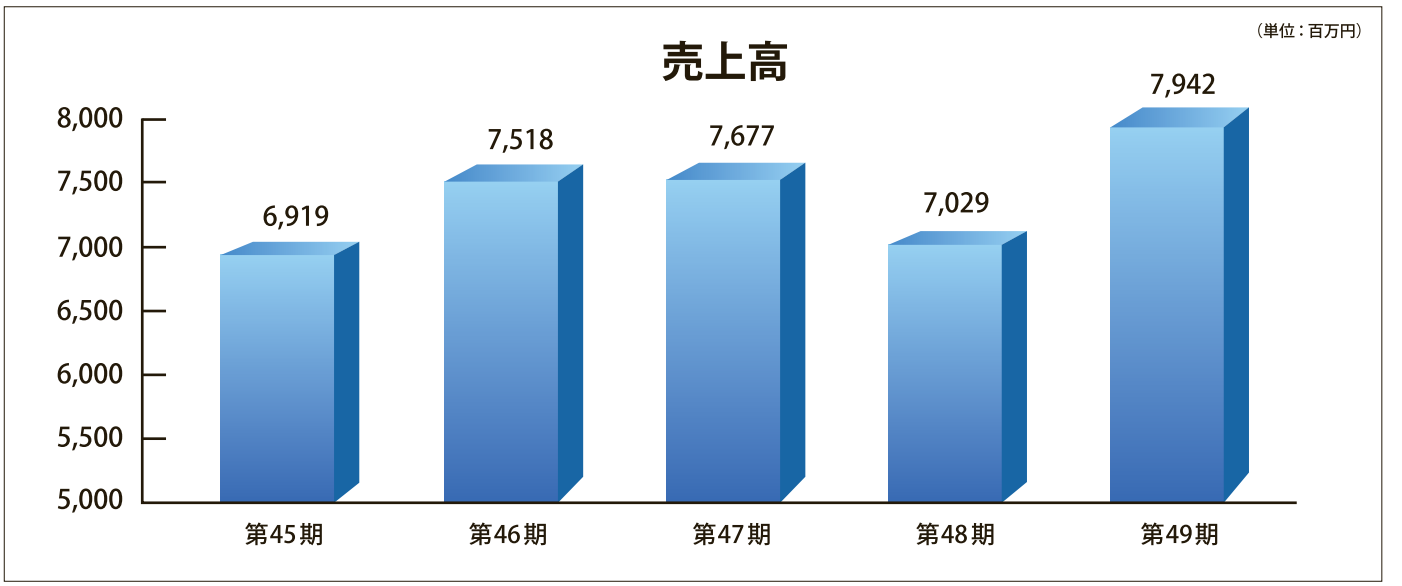
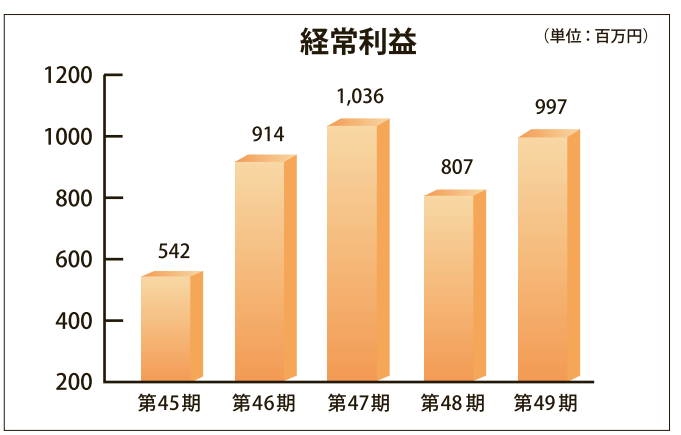
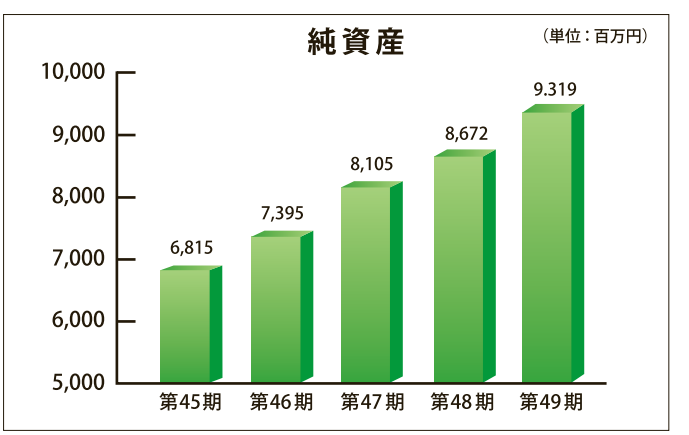
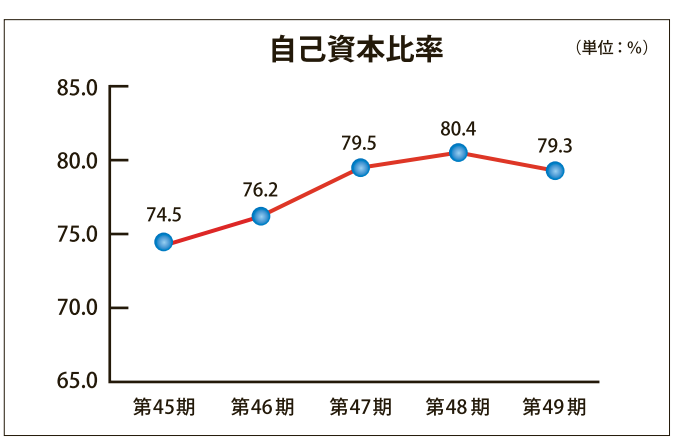
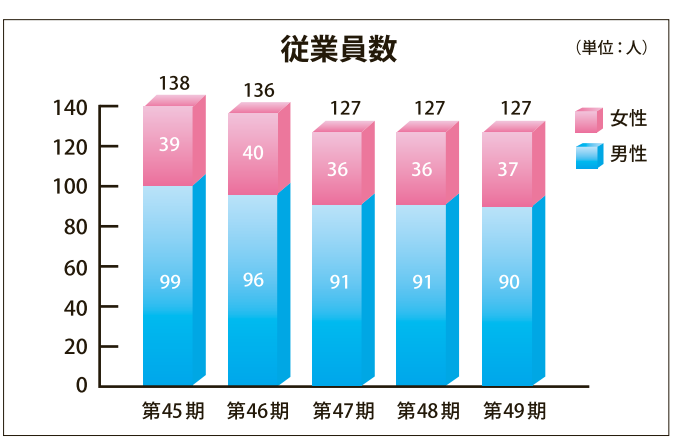
経営業績の推移（第49期 2026年3月31日現在）











会計年度の主なトピックス

第45期　原子力関連施設の新規制基準適合化工事や、石油関連設備の大型定期修理工事等への対応により、前年度と同程度の売上高を達成。

第46期　前年度より引続く原子力関連施設工事や新型発電所設備工事への対応で計画を上回る売上高を確保、
新たにレンタル基本料・ワイド補償制度を導入。

第47期　全国各地域の石油関連施設メジャー定期修理や、原子力関連施設工事に総力を挙げて対応した結果、当初計画を上回る成果を達成。

第48期　前期より継続の、原子力関連や発電所改修工事案件終了にともない売上高は減少、利益面については計画値を概ね確保。

第49期　石油関連施設の大型定期修理工事への対応や電力・原子力関連設備工事の受注拡大により、過去最高の売上高を達成。
茨城県神栖市に物流倉庫棟が竣工、新たに倉庫事業を開始。